学級づくりと児童生徒理解のチェックポイント

~心の居場所づくりのために~

学級目標	□学校・学年の目標が意識されている。 □児童生徒と一緒に話し合って目標を設定している。 □常に児童生徒の目にふれるよう工夫している。 □目標達成のための手立てが準備されている。 □適切に評価(振り返り)をしている。	登校・下校	□遅刻やぎりぎり登校が続いている。 □友達を避けるように登下校している。 □表情がさえず、ふさぎがちである。 □校門や玄関付近で立ち止まっている。 □他の児童生徒の物を持たされている。 □急いで帰ろうとする。逆に、なかなか帰ろうとしない。	
朝・帰りの会	□ 実顔で挨拶をしている。□ 児童生徒の健康状態を把握している。□ 一日の目標をもたせるとともに,活動の振り返りをさせている。□ 連絡事項の伝達だけで終わらないようにしている。□ 気になる児童生徒への声かけをしている。□ 保護者からの連絡帳等を確認している。	休み時間	□一人で寂しそうにしている。 □一緒だった友達やグループから離れている。 □友達と一緒にいてもおどおどした様子である。 □頻繁に教師のそばに来たり職員室へ来たりしている。 □保健室に行く回数が多くなっている。 □乱暴な言葉遣いをしている。	
授業	□授業の前に机や椅子の整頓、身の回りの整理を呼びかけている。 □授業の始めや終わりの時刻を守っている。 □学びの場にふさわしい言葉遣いをしていない。 □完童生徒の名前を呼び捨てにしていない。 □忘れ物をした児童生徒への対応を準備している。 □児童生徒の実態を踏まえて授業を組み立てている。 □児童生徒の活躍の場を準備している。 □児童生徒のよさや努力を認めたり褒めたりしている。 □考えたり活動したりする時間や場を保障している。 □者と関わる場面を意図的に設定している。 □積極的に意思表示できるよう配慮している。 □共感的な態度で発言を受け止めている。 □遅れがちな児童生徒を見届けている。 □遅れがちな児童生徒を見届けている。 □児童生徒の作品や作文等に励ましのコメントを入れている。	授業時間	□授業に遅れることや欠課が多くなっている。 □宿題などの忘れ物が多くなっている。 □挙手や発言の回数が極端に減っている。 □発表の声が小さく元気がなくなっている。 □指名すると周りで冷やかすようなざわつきが見られる。 □グループ活動の際,孤立しがちになっている。 □仕事や作業を押し付けられている。 □配付物が渡されないでいる。 □理由もなく教師に反抗したり,無口になったりしている。 □テスト等の成績が下がり始めている。	
		給食時間	□盛り付けの量で差別されている。 □盛り付けを拒否されている。 □準備や後片付けを押し付けられている。 □班ごとに机を付ける際に拒否されている。 □食欲がなく,一人で黙って食べている。	
給食	□児童生徒と一緒に活動している。 □手順や役割分担を明確にしている。 □配膳や盛り付けに目配りをしている。 □食前・食後の挨拶を確認している。	清掃時間	□机や椅子を運んでもらえないでいる。 □他の児童生徒と離れて一人で清掃をしている。 □みんなが嫌がる仕事を押し付けられている。 □清掃をしようとしない。	
活動	□食事のマナーを守らせている。 □食器等の返し方を見届けている。 □給食後の教室がきれいな状態か見届けている。	部活動	□準備や後片付け等を押し付けられている。 □遅刻が多く、早退・欠席をしたがる。 □グループ分け等でいつも取り残されている。 □上級生や下級生等から非難されている。	
清掃活動	□児童生徒と一緒に活動している。 □手順や役割分担を明確にしている。 □清掃状態を見届けている。 □清掃用具の整理状況を見届けている。	等 - そ	□練習についていけず悩んでいる。 □服装や持ち物が派手になっている。 □靴や持ち物等を隠されたり、紛失したりする。	
その他	□いじめや暴力は絶対に許さないことを宣言している。 □自治的な係活動が行われ、自己有用感や所属感が味 わえるよう見届けている。 □放課後の教室の状態を確認している。	の他	□机や椅子,持ち物等への落書きやいたずらがある。□写真や作品が傷付けられている。□衣服が汚れていたり,擦り傷やあざが見られたりする。	

※児童生徒の状況は複数の目で把握することが大切です。

※気になる児童生徒がいたら速やかに児童生徒や保護者と面談するなどして状況を確認し、即時対応を心がけましょう。その際は、スクールカウンセラー(広域カウンセラー)やスクールソーシャルワーカー等との連携も有効です。